

伊藤病院だより
WINTER

Voice

2018年12月1日発行 第64号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



表参道交差点

医療の国際化に向けて

◆第10回日仏医療マネジメント研究会を主催しました

9月3日から7日の日程で、日仏医療マネジメント研究会を開催しました。

この研究会を立ち上げた10年前、日本では2004年を境に人口減少に向かい、後期高齢者医療制度の検討・施行など、少子高齢化と医療費が大きな問題となっておりました。

一方、フランスは2000年のWHO報告で日本同様に世界トップクラスの医療制度と評され、人口は異なるものの、一人あたりGDPはほぼ同じであるなど、経済指標、生活水準も近く、また、高齢化や増大する医療費など、共通する問題を抱えていたため、医療制度を比較する上で条件がよく、パートナー国に選定いたしました。

伊藤院長は立ち上げ以来、この研究会の団長をつとめており、国際医療福祉大学 高橋泰教授(当院顧問)とともに、全国の医療機関管理者と、毎年継続して研究会を開催してまいりました。

今回は、初日にフランスの医療制度の現状について話を伺った後、国立の終末期医療センター、保険診療を行うクリニック、自費診療を行うクリニック、介護サービスを提供しているケアセンター、慢性期の病院、要介護の方が入所している高齢者施設、ミュチュエルといわれる任意保険の団体、フランスでも高齢者率の高いマントン市の市役所など、多くの施設を訪問しました。

フランスでは、ここ数年に行われた病床削減政策や医療と介護の連携強化、ケアマネジャーに相当する職種の 신설など、医療制度の変更が行われており、その影響も見ることができました。このほか、ヨーロッパの国らしく、近年外国出身の医師数が急増しているといった変化もありました。

訪問先施設の担当者との意見交換に加え、移動時や食事の際には参加者同士でも今後の日本の医療制度のあり方や、自施設の方向性など、活発な意見交換を行い、大変有意義な研究会となりました。



◆第19回インドネシア病理学会に出席しました

伊藤病院 病理診断科科長 加藤良平

2018年9月20日から22日までインドネシアジャワ島での病理学会に招待され、甲状腺腫瘍の病理診断に関する特別講演をしてきましたので報告します。この学会は、第19回インドネシア病理学会(The 19th National Congress & Annual Scientific Meeting Indonesian Association of Pathologists)、国際病理アカデミーインドネシア支部(INA IAP)、アジア太平洋分子免疫組織化学会(APSMI)の合同学術集会で、会場となったスラバヤのJW Marriot Hotelには、インドネシアはもちろんのこと、周辺国からも多数の病理医が参加されていました。学会の晩餐会(Gala dinner)にはインドネシアの民族衣装(パティック)をしつらえていただき、それを着て出席しました。

私の特別講演のタイトルは“Updates in diagnosis of papillary thyroid carcinoma with borderline concepts such as WDT-UMP, FT-UMP, and NIFTF”です。甲状腺腫瘍にはいくつか種類がありますが、なかには分類が難しいもの、良性・悪性の判断に苦慮するものなどがあります。新WHO分類(2017年)に記載された、新しい疾患概念としての良性・悪性境界病変について講演しました。このような中間領域の診断基準や臨床的意義、対応についての一般的コンセンサスは明確になっているとはいえないというのが私の印象です。ちなみにこのような境界病変の提唱には米国での濾胞型乳頭癌の過剰診断の問題が背景にあります。インドネシアは島国ですが以前は低コード地帯とされており、甲状腺腫瘍の頻度が高いということでした。講演会場には多くの病理医があつまり熱心な討論が行われました。

学会後(1週間後)、近くのスラウェシ島で大きな地震(マグニチュード7.5)が起こり、その後の津波で甚大な被害と多くの犠牲者が出たようです。被災されたインドネシアの方々には心からのお悔やみを申し上げます。



医療の国際化に向けて

◆第41回ヨーロッパ甲状腺学会で発表しました

伊藤病院 内科医長 渡邊奈津子

2018年9月15日～18日に英国北部最大の都市、ニューカッスル・アポン・ティンにて開催された第41回ヨーロッパ甲状腺学会に参加してまいりました。

当院から、外科より友田、正木、内科より鈴木美穂、鈴木菜美と渡邊が参加し、発表を行いました。友田医師は1971～1997年と2006～2017年での甲状腺分化癌の予後の比較、正木医師は甲状腺癌に対する分子標的薬治療の当院での経験、鈴木美穂医師は甲状腺機能と動脈硬化の関係、鈴木菜美医師はバセドウ病に対するヨウ素治療、渡邊はメルカゾール内服中の副作用のひとつである無顆粒球症について研究結果を報告しました。会場では各国の専門家と意見を交わすことができ大変有意義な時間を過ごすことができました。

ヨーロッパ甲状腺学会は、ヨーロッパだけでなく世界中の甲状腺の専門医が集まります。日本はヨウ素が充足した地域とされていますが、世界的にはヨーロッパをふくめた広い地域でヨウ素不足があります。学会では、ヨウ素の適正な食事方法をどうするかの議論が熱心に行われており、まだまだ埋まらない世界の地域差に驚きを感じました。ヨウ素を豊富に含んだ海藻を用いる日本の食文化がいつか世界中のヨウ

素不足に貢献できれば、と思います。

また学会終了後は、悪性リンパ腫の世界的権威であり共同研究をおこなっているケンブリッジ大学病理学部Ming-Qing Du教授を訪ね、現在進行中の甲状腺悪性リンパ腫の研究についてミーティングをもつことができました。ケンブリッジでは新たな研究施設の建築がそこかしこで進行しており発展の様子をうかがい知ることができました。最後に、バセドウ病の診療で重要な役割をはたす、TRAb測定法の創案者であるBernard Rees Smith先生のRSR社があるカーディフを訪ねました。大規模な最新の研究施設を見学し、当院の興味深い症例について鈴木菜美医師と渡邊で講演を行いました。世界的に有名なBernard Rees Smith先生やその最先端の研究施設の研究者の方とディスカッションで大変刺激をうけることができました。



渡邊奈津子内科医長 正木千恵医師 鈴木美穂医師 鈴木菜美医師 友田智哲医師



Smith先生を囲んで

◆第9回国際観光医療学会学術集会在開催されました

伊藤病院 国際医療室 テイクン

第9回目となる国際観光医療学会学術集会在札幌で開催されました。北海道大学病院が主催した今学会は、「観光医療の社会実装—TOKYO2020に向けて—」をテーマに、医療観光に取り組んでいる様々な施設が参加し、今年も院長伊藤公一が座長を務めました。

当部署からは「外国人患者ミスコミュニケーション防止への取り組み」をテーマに、通訳サービスを受けた外国人患者様に関しては意思疎通のトラブルを防ぐために交わしている同意書や、入院治療を予定している外国人患者様に関しては



入院2ヶ月前までに入院治療概算費用を預かるなどの内容について発表させていただきました。これらの内容は当院のみならず、他病院でも直面している課題でもあって、発表後、予想外の意見交換を図らせていただきました。

今後、外国人患者様を受け入れ続ける中で、様々な問題が出て来るとは思いますが、これまで築いてきた礎を基に、更なる甲状腺疾患専門病院のサービスを提供して行くために、努力して参りたいと思います。



当院は被災地支援に積極的に参加しております

◆甲状腺検査県外検査実施機関連絡調整会議に出席しました

2011年3月に起きた福島第一原発事故による子供たちへの甲状腺の健康影響を調べるため、福島県では「県民健康調査」として甲状腺検査を実施しています。

2011年10月から先行検査として、震災時福島県に住んでいた概ね18歳以下であった約37万人の方々を対象に甲状腺超音波検査が施行されました。現在は本格検査に移行し、20歳を超えるまでは2年ごとに、25歳以降は5年後ごとに行われます。

当院は2012年より、この「県民健康調査」における甲状腺検査の福島県外検査実施機関として認定され、該当の方々を受診されたときは超音波検査を施行し、その検査結果を超音波画像とともに所定のレポート用紙に記載して、福島県立医科大学の放射線医学県民健康管理センターへ送っています。

今回、環境省が主催した「甲状腺検査県外検査実施機関連絡調整会議」に、北川亘診療技術部部長と白濱正久総務室室長が参加しました。今後、甲状腺検査の対象の方々、進学や就職等で福島県外に居住する方が増加することが予想されます。このため、「県民健康調査」では福島県外の検査機関との連携をさらに強化する必要があります。この会議は、県外検査機関での甲状腺検査手技の確認と、「県民健康調査」の担当者と県外検査機関との意見交換を行うことで、甲状腺検査の福島県外の医療機関の理解を深めることを目的として開催されました。

会議では、「福島県外における甲状腺検査実施機関の支援に向けて」、「甲状腺検査の現状報告と課題」「原発災害とメンタルヘルス」の各講演があり、甲状腺検査の結果と検査継続の必要性、超音波検査時の注意点、被災者のこころの健康への取り組みなど詳しい報告がありました。また、「県民健康調査」の担当者と各病院の医師、臨床検査技師、事務担当者などで活発な意見交換会も行われました。

当院はこれからも甲状腺専門病院として「県民健康調査」の県外検査実施機関としての役割を果たしていくことに尽力してまいります。

今後も甲状腺専門病院として引き続き支援活動を行ってまいります。



福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 甲状腺検査部門長 志村浩己先生(左)と北川部長

伊藤院長が「関節の痛みと女性ホルモン研究会」で講演しました

10月13日に新宿で開催された「関節の痛みと女性ホルモン研究会」で、伊藤院長が「専門病院における甲状腺疾患診療～機能性疾患を中心に～」をテーマに講演しました。

この会は、慶宮医院理事長の宮地清光先生が、女性に多い更年期の関節痛、リウマチなど自己免疫疾患に悩む患者様を減らしたいとの思いから、リウマチ内科、整形外科、婦人科、内分泌科の医師の連携の場として、2016年に立ち上げられました。

関節の痛みと甲状腺の病気にどのような関係があるのか、不思議に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、関節リウマチも橋本病・バセドウ病と同じく、本来は体内に侵入してきた細菌やウイルスを攻撃する免疫に異常が生じ、そのために自分自身の細胞や組織を攻撃してしまう自己免疫疾患です。また、男性より女性に多く発症する点も共通しています。

伊藤院長は、甲状腺疾患の専門医の立場から、会場にお集まりになった先生方に、橋本病・バセドウ病を中心として診断、治療について症例を交えて詳細にご紹介しました。



学会活動

ピックアップ 第51回日本甲状腺外科学会学術集会に参加しました

伊藤病院 診療技術部部长 北川巨

2018年10月25日、26日に横浜ベイ東急ホテルにて第51回日本甲状腺外科学会学術集会、翌27日に甲状腺超音波ハンズオンセミナーおよび第5回甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会が開催されました。

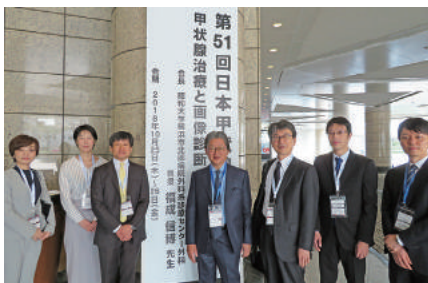
日本甲状腺外科学会は第1回目が日本の甲状腺外科のレベルアップと底辺の拡大を目的として、1968年長野県松本市で甲状腺外科検討会として開催されています。それ以来、毎年全国各地で開催されている長い歴史と伝統がある学会です。1998年に甲状腺外科学会、2006年に日本甲状腺外科学会に発展し、2015年には伊藤公一院長が第48回の本学会を主催しております。

日本の甲状腺・副甲状腺外科分野をリードしてきた学会で、甲状腺の専門医を目指す外科医にとって大変重要で思い入れのある学会ですが、今後は甲状腺・副甲状腺のほかに副腎、膵臓、乳腺等幅広い内分泌臓器を扱う日本内分泌外科学会と発展的統合・法人化され、一般社団法人日本内分泌外科学会として再発致します。このため日本甲状腺外科学会としての開催は本学会が最後となりました。

今回は【甲状腺治療と画像診断の更なる融合】をテーマに、シンポジウムとして「低分化癌、未分化癌に対するこれからの治療戦略」「甲状腺外科治療に対する医療安全」「合併症の少ない甲状腺手術を目指して」「進行甲状腺分化癌の新たな治療戦略」が取り上げられました。また、「甲状腺外科医に知って欲しい超音波のコツ」や「甲状腺微小癌に対するHot Debate」等、さまざまな観点から多数の講演や発表があり、活発な討論が行われました。当院からも、シンポジウム、口演、ポスター発表、モーニングセミナー、ランチョンセミナー等多数の発表や座長を行いました。

また、友田智哲外科医師が一般演題の特選演題に選ばれ、甲状腺超音波クイズでは國井葉内科医師と鈴木章史外科医師が成績優秀者として表彰されました。

患者様には学会期間中、担当医の休診等で大変御迷惑をお掛けしましたが、学会で得た新たな知識や経験を更に当院の甲状腺診療に役立てていこうと思います。



伊藤公一院長



北川巨診療技術部部长



大桑恵子外科医長



赤石純子医師



石垣真之医師



大宜見由奈医師



國井葉医師



友田智哲医師



藪田智範医師



天野ますみ看護部主任



岩井里子看護部主任



佐々木崇司臨床検査技師

学会活動

発表演題

| | |
|-------|--|
| 北川 亘 | 穿刺針径の違いでの甲状腺細胞診細胞採取量について |
| 大桑恵子 | 当院で行われた放射性ヨウ素内用療法(RAI)治療患者におけるTKI治療の対象となる症例像の検討 |
| 石垣貴之 | 甲状腺分化癌の骨転移に対するCyberKnifeを用いた定位放射線治療(stereotactic radiotherapy: SRT)の有用性の検討 |
| 友田智哲 | 甲状腺分化癌の死亡症例の検討(1971～1997年 vs 2006～2017年) |
| 藪田智範 | 散発性甲状腺髄様癌における超音波所見と臨床的特徴の比較 |
| 天野ますみ | 甲状腺術後出血の早期発見と対応に関する取り組み～当院における開創カートの導入と見直し～ |
| 岩井里子 | 手術室未経験者への器械出し研修の取り組み |

特別講演

| | |
|-------|--|
| 北川 亘 | シンポジウム 甲状腺外科治療における医療安全～甲状腺・副甲状腺手術の後出血に対する管理と対応について～ |
| 大桑恵子 | ランチョンセミナー バセドウ病手術における安全なエネルギーデバイスの活用 |
| 赤石純子 | シンポジウム 甲状腺低分化癌の臨床像と予後 |
| 大宜見由奈 | モーニングセミナー 若手外科医から見た甲状腺手術(JABTS合同特別企画)この結節、どこを穿刺しますか? |
| 國井 葉 | (JABTS合同特別企画)病理組織像と内部エコーレベルから考える濾胞性腫瘍病変の鑑別方法 |
| 佐々木栄司 | |

超音波ハンズオンセミナー

| | |
|------|------------------|
| 北川 亘 | 講演「細胞診手技について」 |
| 國井 葉 | 講演「甲状腺超音波検査Bモード」 |

第5回 甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会

| | |
|------|---------------------------|
| 友田智哲 | バセドウ病手術時の術後早期声帯麻痺の危険因子の検討 |
|------|---------------------------|

2018年度日本組織細胞化学会「高松賞」を受賞

伊藤病院 病理診断科科長 加藤良平

9月29日に宮崎市で開催された第59回日本組織細胞化学会学術集会で、高松賞の授与と受賞講演を行ってまいりました。「高松賞」は、アルカリフォスファターゼの酵素組織化学的検出法を世界に先駆けて開発した高松英雄先生(京大結研細胞化学部)の先駆的業績を称え創設されたもので、組織細胞化学の技術の基礎及び応用研究の進歩に大きく貢献し、その発展に指導的役割を發揮した研究者の功績に対して贈られる最も栄誉ある賞です。

受賞講演のタイトルは「甲状腺の機能形態 Functional Morphology of Thyroid」です。その内容を簡単に述べますと、種々の組織細胞化学的手法を用いて、甲状腺濾胞の形態発生から機能多様性の謎を追求し、さらに甲状腺腫瘍の形態特殊性、機能発現と制御機構などについてお話しすることができました。

今回の学術集会には、現在国際的にも広く用いられている免疫染色(酵素標識抗原抗体法)の生みの親であるポール中根先生(米国コロラド大学名誉教授)も来られていました。僕は中根先生の孫弟子にあたりますので、久しぶりにお会いできてとても嬉しく思いました。

なお、学会が行われた宮崎市ではちょうど台風24号が直撃したため、学会2日目(私の講演は1日目)の日曜日は、学会も中止になった上に交通機関もすべて停止してしまったので、帰宅することができませんでした。良い意味でも悪い意味でも思い出深い学会となりました。



コロラド大名誉教授 ポール中根先生(右)と加藤良平科長



尿酸ってなに？

尿酸は、細胞や食品中などに含まれているプリン体という物質がもとで、細胞の新陳代謝やエネルギーの消費によりできる老廃物のことです。私達の体内では毎日プリン体から尿酸がつくられ、腎臓から尿に溶けて排泄されています。

高尿酸血症とは？

血液検査の項目の中に尿酸の英語の略字である「UA(uric acid)」を見ることがあると思います。高尿酸血症・痛風のガイドライン第2版では、このUA値が7.0mg/dlより高値のものを高尿酸血症と定義しています。高尿酸血症そのものは、なんの症状ありませんが、放っておくと痛風や腎障害を引き起こします。

高尿酸血症の原因は？

からだの中で、毎日ほぼ一定量の尿酸がつくられ、主に腎臓から尿中へ排泄されています。この産生と排泄のバランスが崩れると、体内に尿酸の量が増えすぎて高尿酸血症になります。バランスが崩れる原因は肥満、飲み過ぎ、食べ過ぎ、ストレスなどと考えられていますが、はっきりとはわかっていません。もともとの体質が影響している場合がほとんどであるようです。

合併症は？

尿酸値が高い人は、そうでない人に比べて脂質異常症の割合が高く、血液中のコレステロールや中性脂肪が多いことがわかっています。また、高血圧症、脳血管障害、虚血性心疾患との合併が多いこともわかっています。

食事療法について

高尿酸血症のみで無症状の人に対しても、尿酸値が9.0 mg/dl以上である場合は治療が推奨されています。また、高血圧症や虚血性心疾患、糖尿病のある人はもう少し早い段階で治療介入が推奨されています。プリン体の多く含まれている食品：肉類・内臓類(牛レバー、豚レバー、鶏レバー)、魚介類(カツオ、マイワシ、エビ、カニ、タコ、イカ、貝類)、特に高プリン体の高い干ししいたけ等を偏って過剰に摂取しないよう注意することも大切です。

痛風発作って？

高尿酸血症の代表疾患は痛風です。尿酸が結晶のかたまりとなって関節に沈着し炎症を起こす病気です。典型的には、ある日突然、足の親ゆびの付け根の関節が赤く腫れて痛みだします。痛みは激烈で、歩くのも苦痛なほど耐えがたい痛みです。我慢していると、1～2週間でしだいに治まって、しばらくすると全く症状がなくなります。しかし、また必ず再発します。痛風発作は、炎症を抑える薬を服用すると比較的早く治る事が多いです。

痛風はどんな人がなりやすい病気？

20～50歳代のアルコールをたくさん飲み、肉食を好む男性がなりやすい病気です。

食品100g中の
プリン体含有量
(mg)

| | |
|------|-----|
| 牛レバー | 220 |
| 豚レバー | 285 |
| 鶏レバー | 312 |
| かつお | 211 |
| 真いわし | 210 |

| | |
|-------|-----|
| 大正えび | 273 |
| ずわいがに | 136 |
| たこ | 137 |
| するめいか | 187 |
| 牡蠣 | 185 |

乾燥食品は干し椎茸で380mgなど、水分が減る分高い数値になります。また、健康食品には多量のプリン体を含むものもあるため、気をつけましょう。

医療安全管理者養成研修会に参加しました

伊藤病院 臨床検査室主任 植木輝

この度、7月から9月にかけて計6日間にわたって開催された一般社団法人 医療の質・安全学会が主催する医療安全管理者養成研修会に北川亘診療技術部部長と参加し、医療安全管理者の資格を取得いたしました。

医療安全は、個人レベルでの事故防止対策と組織的な事故防止対策の仕組みづくりを推進することが大切です。当院でも伊藤院長のリーダーシップのもと、全職員がそれぞれの立場から医療安全に取り組み、患者様の安全を確保しつつ必要な医療を提供していくために、全職員が積極的に取り組んでおります。

医療安全管理者は、その中でも院内体制の構築に参画し委員会活動の円滑な運営の支援、医療安全に関する職員教育と情報収集・分析を行います。また、万が一医療事故が発生した際には、関連部署と連携し

て影響拡大防止に努める役割を担っています。研修会では41時間にわたり、これらのテーマについて詳しく学びました。

今後は関連部署の医療安全管理者と協力し、引き続き患者様に安心して診療を受けていただけるよう、さらなる安全性の向上に取り組んでまいります。



私たち
こんなことをしています

～医療相談室～

伊藤病院 医療相談室師長 天沼紗織



当院の医療相談室は、医療相談・入院案内・退院調整の3つの部門から構成されています。

医療相談は患者様が安心して治療が続けられるように、心配事、疑問点など様々なご相談をお受けしています。また治療選択において、病気や治療について理解を深めていただけるよう、わかりやすい言葉を使用し説明を行い、ご自身に合ったよりよい方法を見つけ出すお手伝いをさせていただいております。

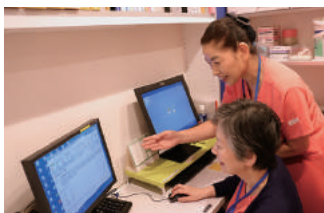
入院案内は入院予約や、入院に関する様々な調整を行っています。病棟と協働し、スムーズで効率的な病床管理を行っています。入院予約に来られる患者様は、入院を勧められ不安を抱えている方がほとんどです。私達は不安の軽減のため、明るく優しい対応と環境作りに心掛けています。また医療相談と連携し、不安や疑問を最小限にして入院ができるようサポートしています。

退院調整は社会福祉士や、ケアマネージャーの資格をもった2名の専任看護師がその業務を担っています。退院に向けての支援や調整が必要な患者様に早期から関わり、お住まいの地域の医療施設や地域包括ケアセンターなどと連携をとり、患者様やご家族の希望に沿った調整を目指しています。

医療相談室スタッフは師長・主任を含め、当院での経験豊富な看護

師6名が在籍しています。専門性の高い知識が発揮できるよう、それぞれが自己研鑽に努めています。部署内でも学びや知識を共有し、チームで成長できるよう、スタッフ自身が講師となり勉強会を行っています。また患者様に対するサポートの充実に向け、部署内はもちろん他職種と定期的にカンファレンスを実施しています。

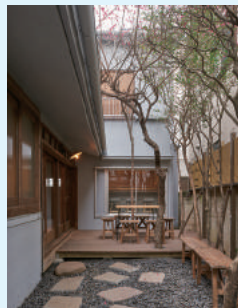
今後も患者様に寄り添い、意思決定をサポートする看護が提供できるよう、日々努力をしております。



表参道寄り道スポット

味甘CLUB

今回は和テイストのスイーツ店が集まった裏参道ガーデンの中にある「味甘CLUB」さんのご紹介です。伊藤病院より裏路地に入ると5分ほど歩くと見えてくるCAFEです。



裏参道ガーデンは、表参道らしくおしゃれでもありながら、和の雰囲気や漂わせ、落ち着いた外観。中に入ると外に椅子とテーブルが置かれており、縁側のような風情が広がっています。店内には、宇治茶とスイーツが味わえる「宇治園」、米粉を使ったパンケーキのお店「Riz Labo Kitchen」、北海道メロンたっぷりのスイーツのお店「とままえ風」、そして今回ご紹介する「味甘CLUB」の4店舗のスイーツ店が軒を連ね、ゆっくりできる雰囲気の中にも賑わいを感じることができます。



味甘CLUBは、日本人にはなじみの深い甘味を、新しい味で楽しむオリジナルのスイーツがたくさん。「和」のスイーツがお好きな方には、特におすすめです。

★**天使の涙**
名前のように本当の涙のように透明で、きれいな球体をしたスイーツです。

原料には寒天に似た材料を使用しており、今までに食べたことのないようなプルプルの食感と口溶け。その周りに広がるきなこには国産のものを使用しており、黒蜜と混ぜて食べるともう絶品！！スイーツなのに甘すぎず、気付いたら食べ終わってしまっているような一品です。数量限定メニューのため、ぜひお早めにお立ち寄りください。

★**みたらし団子**
こちらのみたらし団子は自分で七輪で煮るスタイル。ほんのり焼けた匂いと、お餅なのにトロっとほろ甘い食感がなんとも言えない一品です。タレはプレーン、シナモン、ゆず胡椒、花山椒、ペペロンチーノ、

梅、わさび、七味、カレー、バジルの10種類から3種類選ぶことができます。焼き方や味を選ぶことができるので、食べるだけではなく楽しさもプラスされた一品となっています。セットメニューでは16種類の中からドリンクを選ぶことができるので、お得感満載です。

他にも、あんみつ・ぜんざい・お汁粉などといった和スイーツが楽しめる甘味処になっています。食材も国産のものにこだわっており、安心して美味しいスイーツを食べれるお店となっております。

また、2Fのギャラリースペースでは、アーティストやデザイナーの個展、カルチャースクールなども開かれていますので、訪れた際にはこちらもお覧になってみてはいかがでしょうか？



「天使の涙セット」1,000円(税込)



「みたらし団子セット」1,000円(税込)

「クリームぜんざい」1,000円(税込)



お店の方から一言
「天使の涙セット」は透明でプルプル、ゼロカロリースイーツです。北海道産のきな粉と無添加の黒蜜をたっぷり絡めてお召し上がりください。「みたらし団子セット」は七輪で煮て熱々を自家製のタレでお召し上がりいただけます。タレは好みで10種類の中からお選びいただけます。




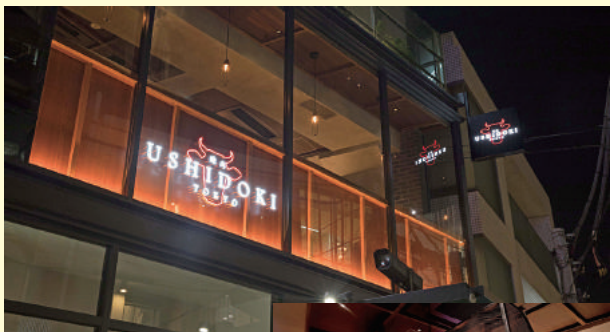
店名 味甘CLUB
住所 渋谷区神宮前4-15-2 裏参道ガーデン1階
営業時間 11:00 ~ 18:00
定休日 月曜日 但し祝日の場合は営業
ホームページ <http://www.urasando-garden.jp/>



表参道ランチ&グルメ情報

焼肉 USHIDOKI TOKYO

 青山の路地裏に佇む大人の隠れ家レストラン。今回ご紹介するのは表参道駅B2番出口より徒歩5分に位置する「焼肉 USHIDOKI TOKYO」です。



今年8月にOPENしたばかりのこのお店では、お昼から贅沢に和牛を使用した焼肉ランチを堪能することができます。店内は落ち着いたシックなデザインとなっており、広めのテーブル席、ゆったりとしたソファ席で大人の空間がひろがっています。窓に面したカウンター席もあるのでおひとり様ランチでも活用しやすいです。

なんといってもこだわりはそのお肉！お店で使用されているお肉はその日ごとに産地や銘柄、ランク等を厳選して仕入れを行っており、食べごろまで熟成されているそう。また国産の和牛を使用しているので産地を気にされる方も安心して召し上がることができます。生食用のお肉も渋谷区の厳しい基準をクリアしており、今ではなかなか目にかかることが少なくなった牛ユッケも楽しめます。

ランチのおすすめはお店の名前もついている「USHIDOKI焼肉セット(税込1,780円)」です。カルビとロースの焼肉セットにサラダ、ご飯、スープ、デザートがついて大変お得です。サラダとご飯はおかわり自由なので、お野菜もたくさん

とれて身体にもうれしいですね。また、数量限定ですが、「USHIDOKI炙り肉刺し丼(税込1,580円)※限定6食」は大迫力の盛り付けで思わず写真を取りたくなるビジュアル！卵とからめていただくと思わず声がでしま



USHIDOKI焼肉セット

いような美味しさです。

韓国伝統の干しダラのスープ(ブゴク)をモダンにアレンジしたという「名物！干しダラのスープセット(税込1,580円)」も身体にじんわりしみるような優しいお味で寒い冬におすすめのメニューとなっています。

その他にもタンシチューやさき焼き風ザブトンなど、焼肉だけではないメニューの種類も豊富なので、何度でも足を運びたくなりますね。

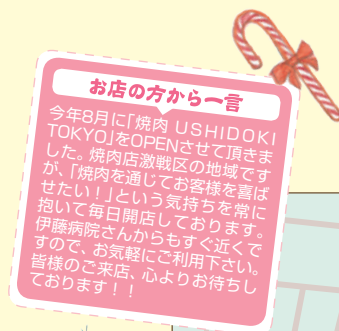
寒い冬には暖かい焼き肉で是非「ココロオドル」ランチをお楽しみください。



USHIDOKI炙り肉刺し丼



名物！干しダラのスープセット



店名 焼肉 USHIDOKI TOKYO(ヤキニク ウシドキ トウキョウ)
住所 渋谷区神宮前5-50-3 アーバンテラス青山 2F
電話番号 03-6427-6127
営業時間 LUNCH: 11:30 ~ 15:00 (L.O. 14:30)
DINNER: 17:30 ~ 23:00 (L.O. 22:30)
定休日 無休
アクセス 表参道駅B2番出口から徒歩5分
ホームページ <https://www.ushidoki.jp/store/>
Facebook 焼肉 Ushidoki Tokyo
Instagram #ushidoki
平均予算 LUNCH: 1,000 ~ 2,000円 DINNER: 8,000 ~ 10,000円
席数 63席
個室 3部屋(4 ~ 6名) ※個室料3,000円、サービス料5%
Wi-Fi 無



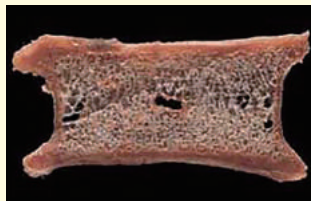
このコーナーでは、検査結果をお出しするまでの流れや、検査機器のしくみについて、ご紹介してまいります。

骨密度検査

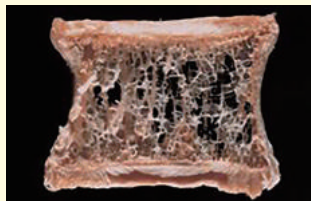
伊藤病院 放射線検査室 片山治紀

☆骨密度(骨塩定量)検査とは

骨を構成しているカルシウム、リン、マグネシウムなど(骨塩)の量を測定する検査です。骨の内部の密度(骨量)が減少してもろくなり、骨折しやすくなった状態や、すでに骨折を起こしている状態を骨粗しょう症といいます。骨密度の検査をすることで骨量の減少を早期に発見し、骨粗しょう症の適切な予防や治療を行うことができます。



正常な骨の断面



骨粗しょう症の骨の断面

写真提供：浜松医科大学名誉教授 井上哲郎先生
(公財)骨粗鬆症財団ホームページより引用

☆骨密度と甲状腺疾患の関係

骨は髪の毛や皮膚と同じように常に新陳代謝を繰り返していて、古くてもろくなった骨の一部を壊して(骨吸収)、新しい骨に作り替えています(骨形成)。骨量の減少は「骨吸収」と「骨形成」のバランスが崩れることが原因となって起こります。

骨密度と甲状腺疾患には関係があります。甲状腺機能亢進症により甲状腺ホルモンの高い状態が続くと、甲状腺ホルモンの働きにより骨吸収が進み、骨粗しょう症をきたしやすいといわれています。また、副甲状腺機能亢進症でも骨粗しょう症になります。副甲状腺が分泌する副甲状腺ホルモンは血液中のカルシウム濃度を一定にする役割があります。このホルモンが過剰に分泌されることにより血液中のカルシウム濃度が濃くなりその分、骨の密度が減少するため骨粗しょう症をきたしやすいといわれています。

☆骨密度検査の種類

○DEXA(Dual-Energy X-ray Absorptiometry)法

当院で使用している方法です。2種類の異なるエネルギーのX線を照射して、骨と軟部組織(内臓や脂肪など)の吸収の差を利用して骨密度を測定します。骨密度の標準的な測定方法で、最も精度の高い

方法とされています。

○MD(Micro Densitometry)法

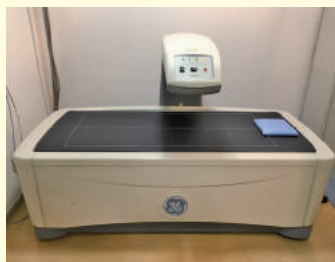
X線を使って、手の骨と厚さの異なるアルミニウム板とを同時に撮影し、骨とアルミニウムの濃度を比べることによって骨密度を測定します。精度は低いですが、短時間で測定できます。

○QUS(Quantitative Ultrasound)法

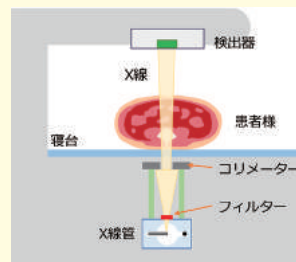
かかとの骨に超音波を透過させ、その透過速度と減衰から骨の状態を推測します。実際の骨密度を測定しているわけではないため精度は低いですが、X線を使用しないので妊婦さんでも検査することができます。

☆骨密度検査の仕組み

当院はGEヘルスケアジャパン社製の骨密度検査装置を使用してDEXA法で検査をおこなっています。DEXA法はエネルギーの異なる2種類のX線を照射して身体を透過した量を測定します。骨と軟部組織に同じエネルギーのX線をあてると、透過する量が異なります。また、同一の成分でもX線のエネルギーが変わると、透過する量は異なります。この仕組みを利用して身体を透過した2種類のX線の量を計測、演算して骨密度を算出します。



骨密度検査装置



骨密度検査装置の仕組み

X線管から発生したX線はフィルターを通ることで高いエネルギーと低いエネルギーの2種類のX線になります。X線は距離が遠くなるほど扇状に広がってしまうので、検査に必要な部分はコリメータを使って不要な被ばくをしないようにします。コリメータで細くなったX線を患者様に照射し、透過したものを上部の検出器で受信します。

骨密度検査はX線を使用する検査ですが、被ばく線量はとても少なく、各部位で胸部レントゲン撮影の5分の1程度の量で検査を行うことができます。

☆測定部位

骨粗しょう症学会から出されている「骨粗しょう症の予防と治療

ガイドライン]では、診断にはDEXA法を用いて、腰椎と大腿骨近位部の2ヶ所を測定することが望ましいとされています。腰椎は骨折発生頻度の高い部位を高い精度で測定することができ、さらに薬物効果の変化を最も捉えることができますが、高齢になると大動脈の石灰化や変形性脊椎症などの影響を受けるため正確な測定が困難な場合があります。大腿骨近位部は同部位の骨折リスクを最もよく反映し、他の部位の骨折リスクの検出にも優れますが、日本人は骨の構造の関係で測定精度は少し低くなります。腰椎・大腿骨の測定困難症例では橈骨(手首)の測定をします。また、ガイドラインで副甲状腺機能亢進症では橈骨骨幹部が最適の測定部位とされています。

これらの理由により、当院では腰椎・大腿骨・橈骨の3ヶ所を測定しています。

☆検査結果の見方

若年成人(20～29歳)の平均値(YAM: Young Adult Mean)との比較が骨粗しょう症の診断に用いられます。若年成人の平均値と比較して80%以上で正常、70～80%では骨量減少、70%未満は骨粗しょう症と診断されます。

①BMD(Born Mineral Density)

骨に含まれるミネラル(カルシウムなど)の量(g)を骨の面積で割った値

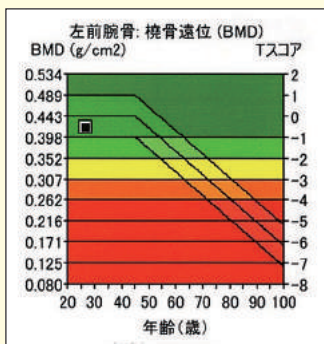
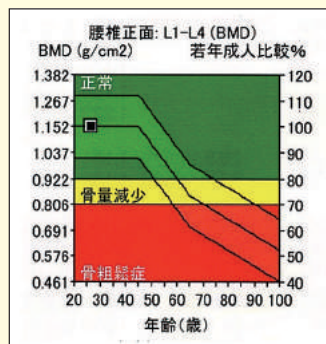
②若年成人比較

骨密度が高いといわれる若年成人の骨密度の平均値を100%として、現在の骨密度がどの程度かを割合(%)で表した値

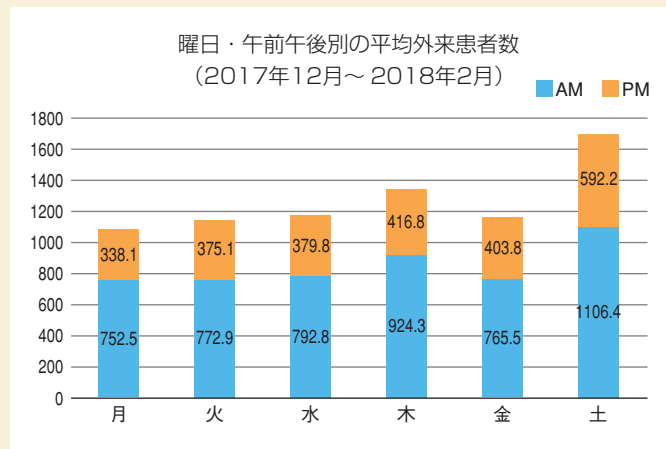
③Tスコア

患者様のBMDを若年成人の平均値と比較して標準偏差(SD値)で表したものの

(WHOより -1から-2.5:骨減少症 -2.5以下:骨粗しょう症)



当院は予約制をとっておりませんので、患者様のご都合のよい日時にご来院いただける一方で、混雑時には待ち時間がさらに増えてしまう状況にもあります。これまで診察室増設、各種検査技師の増員、ITの拡充による業務効率化などの対策を進めて参りましたが、十分とは言えない状況です。そのため、患者様より空いている曜日や時間帯についてご質問をいただくこともございますので、今回、曜日別および午前・午後別の外来受診者数について、昨年の同時期の統計をご紹介します。



統計では、週の前半が比較的混雑が少なく、また、どの曜日も、午前の方が混み合う状況にありました。

外来では、特に医師の指定が無い方は、待ち時間が長くなるように、各診察室の待ち人数を考慮して診察室を決定しております。患者様のご都合や医師の外来担当日などの兼ね合いもございしますが、ご来院の日時を決めるの参考になりましたら幸いです。

また、決まった医師の診察を継続されている方や、医師のご希望のある方はそちらを優先して診察室を決定しております。女性・男性医師、〇〇医師など、医師の指定や変更のご希望がございましたら、2F外来中央にお知らせ下さい。病気の性質や治療内容によりご希望に添えない場合がございますが、できる限り対応させていただきます。

今後も待ち時間軽減への取り組みを継続してまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

ロータリークラブを通じて高校生の職業体験受け入れを行いました

伊藤病院 放射線検査室室長 辻仁
臨床検査室主任 田中克昌

学生の自主性・職業観を養うため、多くの学校で職業体験を実施されており、当院も国際ロータリークラブを通して、高校生の職業体験を受け入れております。

今回、夏休みを利用して職業体験の申し込みされた高校生2名に、臨床検査技師、診療放射線技師の仕事を体験していただきましたのでご紹介します。

放射線検査室では、7月26日に東京都私立女子聖学院高等学校の1年生1名の職場体験を受け入れました。診療放射線技師の業務内容の紹介とともに、当院に設置されている放射線医療機器(CT装置、ガンマカメラ等)を中心に、実際に装置に寝てみるなど検査の疑似体験を通し放射線技師の業務を体感していただきました。



臨床検査室では、8月29日・30日に渋谷教育学園渋谷高校の3年生1名を受け入れました。臨床検査室は、患者様と直接接する採血や生理機能検査の他にも患者様から採取しました血液や尿の分析、手術によって取り出された組織や細胞の検査を行っております。今回は、当院で行っている検査業務すべてとともに、医療相談室、医事室など、病院で働く他職種の業務も見学・体験して頂きました。



お二人からは、普段見ることの出来ない医療現場での貴重な体験が出来、今後の進路に役立てたいと感想を頂きました。

今回の職業体験が今後の学業や進路決定の一助になる事を願っております。

「スーパーよさこい2018」の救護所ボランティアに行ってきました

伊藤病院 外来 岡田依里

8月25日(土)、26日(日)の2日間にわたり実施された「明治神宮奉納原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2018」に、26日(日)の救護所ボランティアとして、伊藤病院から2名の看護師が参加しました。

このお祭りは全国から100以上のチームが集まり、表参道のほか代々木公園周辺の会場でよさこいを披露されます。私はよさこいが大好きで、毎年欠かさず観に行っています。

今年は例年にない猛暑のため、前日も来場者や踊り子さんが多数熱中症を発生しているとの情報でした。

当日は表参道ゴール地点での救護でしたが、思っていたよりも多数の踊り子さん達が救護所を利用されました。幸い、重症となる方はおらず、回復した踊り子さんからは感謝の言葉をいただくことができました。後日聞いたところによると土日合計で265名の救護所利用があり、前代未聞の年だったようです。今回ばかりはじっくりよさこいを見ることができませんでしたが、大好きなよさこいにボランティアという形で貢献できたことをとてもうれしく思っています。また、ゴール地点では表参道の坂から下ってくる様子を正面から見る事ができました。

特等席で見られたことに感謝しながら、また来年も表参道の地域貢献のためのお手伝いができたらと思いました。



バセドウ病について

伊藤病院 内科 盛崎瑞葉



バセドウ病とはどういう病気か

バセドウ病は抗TSHレセプター抗体(TRAb)、甲状腺刺激抗体(TSAb)といった甲状腺に対する自己抗体によって甲状腺ホルモンが過剰に合成・分泌されて甲状腺機能亢進症となる病気です。びまん性甲状腺腫や、眼球突出などの甲状腺眼症を呈することも特徴的です。

症状

脈拍が速くなる、息切れ、体重減少、手の震え、暑がり、発汗の増加、軟便などの症状がみられることが多いです。心臓や血管に影響を与えて高血圧、不整脈、心不全がみられることもあります。また、まれですが筋力の低下や、血中のカリウムが低くなり四肢麻痺がみられることもあります。小児では学力低下、急な身長伸び、落ち着きのなさがみられることがあり、高齢の方は甲状腺の腫れがはっきりせず、症状が乏しいこともあります。

診断

これらの症状に加えて、血液検査で甲状腺ホルモン(FT3、FT4)高値、甲状腺刺激ホルモン(TSH)が低値、TRAb、TSAbが高値であることを確認します。TRAbやTSAbが高くないバセドウ病もあるため、そのような場合は放射性ヨウ素などを用いたシンチグラムを行って、放射性ヨウ素が甲状腺全体にびまん性に取り込まれることを確認して診断します。

治療

バセドウ病の治療には、①抗甲状腺薬による治療、②アイソトープ治療、③手術の3種類があります。

①抗甲状腺薬による治療

診断してすぐに開始できる抗甲状腺薬による治療がまず選択されることが多いです。チアマゾール(MMI 商品名：メルカゾール)とプロピルチオウラシル(PTU 商品名：チウラジール、プロパジール)があります。甲状腺機能亢進症の程度、妊娠希望や妊娠・授乳の有無により薬の種類や用量を決めます。甲状腺ホルモンが改善したら徐々に減量し、一番少ない量で安定していたら内服を中止して経過をみます。副作用としては痒みや皮疹、肝機能障害、白血球減少、ANCA関連血管炎などが主なものです。副作用は内服開始後3ヶ月くらいまでに出現することが多いため、その間は2週間毎に通院していただき、血液検査で確認する必要があります。

②アイソトープ治療

放射性ヨウ素カプセルを内服することで、甲状腺に取り込まれた放射性ヨウ素がホルモンを過剰に産生しているバセドウ病の甲状腺細胞を減らして、甲状腺ホルモンの分泌を減少させる治療です。抗甲状腺薬で副作用が出てしまったときや、抗甲状腺薬で寛解(バセドウ病の場合は再発する可能性があるために完治とはいいません)に入らないとき、心臓などに疾患があるときにも適応になることがあります。妊娠中や6ヶ月以内に妊娠する可能性がある女性、授乳中の女性は受けることができません。眼の症状が悪化する可能性があるため、事前に

眼症がないか眼科で確認する必要があります。治療効果には個人差があるため、治療後に甲状腺機能低下症になり甲状腺ホルモンの補充が必要になることもあります。

③手術

甲状腺の組織を切除することで甲状腺ホルモンの分泌を減らす治療です。甲状腺癌など腫瘍を合併した場合や妊娠中に副作用などのため抗甲状腺薬が使えなくなってしまった場合などにも適応があります。当院では術後の再発を避けるためにほとんどの甲状腺組織を取り除く手術を行っています。術後は甲状腺ホルモンの補充が必要になります。

生活の注意

甲状腺ホルモンが高い時期はなるべく安静にして、激しい運動、手術、抜歯、侵襲を伴う検査などは避ける必要があります。喫煙している方は禁煙がすすめられます。ヨウ素を含めて食事の制限は特にありません。

中日健康フェア2018で講演しました

名古屋甲状腺診療所 事務長 高田博史

中日健康フェアは、東海エリアの医療・健康に関する総合展で、『学校の授業』をコンセプトに一般市民の方を対象に毎年開催されています。名古屋駅前にある名古屋医専総合校舎スパイラルタワー内ホールが会場で、交通に便利なことから、例年東海3県から1万人以上が参加される大変人気のある体験型講演会で、今年は9月1日(土)、2日(日)にわたって開催されました。

今回、当院からは9月2日の企画として「甲状腺のこと、ご存知ですか? よくある不調にご注意を」をテーマに、藤田医科大学(旧 藤田保健衛生大学)病院 内分泌外科 日比八束教授とともに、椿院長が1時間半にわたって講演しました。

昨年は多くの参加申し込みをいただき、抽選で外れてしまった方も多数いらっしゃったことから、今回は昨年の2倍となる400名の会場を準備しましたが、満席になるほどの方々にお集まり頂きました。

講演では、甲状腺疾患についてのご説明から、甲状腺疾患と診断されるまでにどのような疾患と間違われることがあるかのご紹介に続き、最後に患者様やご家族から寄せられた体験談、ご質問についての回答を行いました。皆さん熱心に聴講され、甲状腺の病気についてどのような経過で発症し、早期診断の大切さなどについて頷いておられました。また、ご家族で参加された方も多く、甲状腺の病気を患う方の気持ちや寄り添い方など考えさせられましたとお話も頂戴しました。

今後も、このような機会をとらえ、甲状腺を病む方々にご病気についての理解を深めていただくとともに、より多くの方々に甲状腺の病気について知って頂けるよう、情報提供してまいりますので、よろしく願い致します。



2019年 5月・6月の学会について

下記学会期間中は医師の代診・休診が多くなります。

2019年 5月 9日(木)～11日(土)
第92回日本内分泌学会学術総会

2019年 6月 13日(木)～14日(金)
第31回日本内分泌外科学会総会

患者様にはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご容赦いただけますようお願い申し上げます。

名古屋甲状腺診療所(旧 大須診療所)

住所: 愛知県名古屋市中区大須4-14-59
電話: 052-252-7305 FAX: 052-252-7308
HP: kojinn-kai.jp/nagoya

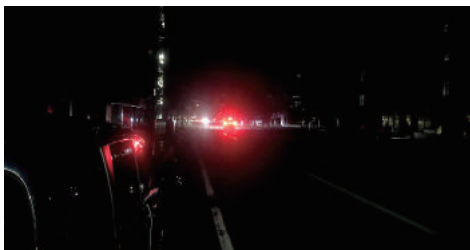


北海道胆振東部地震

さっぽろ甲状腺診療所 事務長 澤井敏樹

9月6日(木)午前3時8分、北海道胆振(いぶり)地方中東部(厚真町)を震源とする、最大震度7という北海道では経験したことのない大きな地震が発生しました。札幌市でも私が住む東区は震度6弱という建物が壊れそうな揺れを感じました。診療所のある中央区は震度4と札幌市内でも比較的小さい揺れで済んだようです。幸いなことに職員、家族、診療所の建物には被害はありませんでしたが、報道の通り、北海道全域が停電となり、診療所の電気が復旧したのも約24時間後のことでした。

震災直後の午前4時前には、私と職員1名が、信号が止まっている暗闇の中、マイカーで診療所へ到着。程なく岩久院長もかけつけました。



地震発生直後の診療所前の光景

すでに停電になっており、非常電灯が点いている中、ビルのチェックを行いました。驚くほどに変化はなく、ビルのすばらしさを実感したところ。その後、徒歩で通勤出来る職員が出動し、予約患者様への連絡や対応に奔走しました。2日間の休診は余儀なくされましたが、大きな混乱もなく、ほっとしたところ。です。

停電がこれだけ長時間にわたることは今までにも経験がなく、現代生活の中で、電気が失われることがどれだけ不便になるかを実感した出来事でしたが、日本人のすばらしさを垣間見たエピソードもありま

す。信号はほとんどの場所で動いていませんでしたが、早く交差点に進入した車が優先して通るという暗黙のルールが出来上がり、渋滞や交通事故もほとんど無く、スムーズに車が流れていたことです。むしろ交通整理の警察官がいる交差点では渋滞が起こるといった奇妙な光景でした。いろいろと問題のある世の中ですが、日本人はまじめで助け合いの心を持ったすばらしい国民だということを改めて感じました。日本は災害に強いというのは、こういった国民性がそうさせているのかも知れません。

北海道でこんな災害が起こることは夢にも思っていませんでしたが、今回の地震でしっかりと備えをしておくことの重要性を再認識いたしました。全国どこの地域でもいつ災害が起こるかわかりません。その時に困らない準備を是非していただきたいと思います。



自宅近くの道路(地震発生直後、暗闇の中、この付近を走行して向かいました。)

さっぽろ甲状腺診療所

住所：北海道札幌市中央区大通西15丁目1-10

ITOメディカルビル札幌5F

電話：011-688-6440 FAX：011-688-6439

H P：kojin-kai.jp/sapporo



Voiceへのご意見をお寄せ下さい

いつも伊藤病院広報誌「Voice」をお読みいただき、ありがとうございます。

Voiceは、平成15年の創刊以来、取材から記事の執筆まで、すべて院内のスタッフによる手作りで発行しています。年4回発行して



おりますが、ご病状が落ち着いて来院間隔が広がった患者様から、前号のVoiceがほしい、というお話を伺うこともあり、スタッフ一同、毎号気持ちを引きしめて取り組んでおります。

これからも、より多くの方々にお読みいただけるような誌面を作ってまいりますので、皆様からのご意見、ご要望を、ぜひ院内1Fに設置のご意見箱にお寄せください。

今後とも、『Voice』をよろしくお願いたします。

このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやました甲状腺病院の情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました甲状腺病院 理事長・院長 山下弘幸

やました甲状腺病院の山下です。

今年のノーベル医学生理学賞は、がん免疫療法の発展に貢献された京都大学名誉教授の本庶佑先生に贈られますが、研究者に光明をもたらすものと信じています。ところで、私は甲状腺・副甲状腺に特化した診療を25年近く行ってきました。民間の専門病院で基礎研究を深めることは非常に困難ですが、たくさんの患者さんを診療させていただけるので、臨床研究には恵まれた環境と考えています。今回は、別府の野口病院赴任当初より現在まで継続しているカルシウム・ビタミンD代謝の研究について書かせていただきます。

赴任後しばらくして、甲状腺手術後のテタニー（低カルシウム血症をきたして、四肢の痙攣を生じること）の成因に興味を持ちました。甲状腺外科の一般的な常識では、テタニーは甲状腺を摘出するとき、甲状腺に付着している副甲状腺を摘出あるいは血流障害をおこすことにより、副甲状腺ホルモン(PTH：血液中のカルシウム濃度を調整するホルモンで低下すると、低カルシウム血症となる)低下によるものと考えられていました。上記だけの原因であれば、バセドウ病の手術でも良性腫瘍の手術でも頻度はかわらないこととなります。悪性腫瘍では周囲のリンパ節を郭清する必要がありますので、少し違ってきます。ところが、同じ手術でもバセドウ病患者さんでは圧倒的に術後テタニーの頻度が高くなります。さらに不思議なことに、バセドウ病患者さんでは若い女性に合併する頻度や症状の重症化が高いことが観察されていました。上記の事実は、手術手技だけでなく、カルシウム、PTH、ビタミンD、骨代謝や性ホ

ルモンが複雑に関与していると思いましたが、どうやって解明するか悩ましいものでした。危険因子の解析で、テタニー症例では手術前より血中カルシウム濃度の低いことがわかりました。ビタミンD不足が低カルシウム血症の原因の一つとわかっていましたので、ビタミンD濃度の測定を予定しました。その当時、健康保険で検査可能なビタミンDは活性型ビタミンDのみでした。ある程度の症例をまとめて手術前の血清中の活性型ビタミンDを測定すると、なんとテタニーが生じた患者さんでは有意に活性型ビタミンDが高い結果となり、予想に反した結果となり愕然としたことを忘れられません。さらに、術後PTHが高値にもかかわらずテタニーを生じた患者さんが少なからず存在することがわかり、謎は深まるばかりでした。最初からカルシウム、PTH、ビタミンD、骨代謝の基礎知識が十分あれば、上記の結果を当然と判断していたかも知れません。その後の研究で謎を解き明かしていきますが、紙面の関係で次回に回したいと思います。

研究者にもいろいろタイプがありますが、私はどちらかと言うと石橋を叩いて渡る手法ではなく、とりあえず当たって砕けろということのようです。石橋を叩いても渡らない方は研究者にはむかないことは確かなようですが、まずは次回をご期待ください。



医療法人福甲会
やました甲状腺病院

〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8
<http://www.kojosen.com/index.html>
TEL : 092-281-1300 FAX : 092-281-1301

学会活動

- 第36回 内分泌代謝学サマーセミナー(宮城・8/2～4)
吉村 弘 座長「甲状腺腫瘍の発症機構と診断・治療の指針」
- 第22回 茨城県地域医療学術集会(常陸大宮・8/19)
鈴木章史 「きっと役立つ!? “副”甲状腺診療あれこれ その6 2018夏 番外編」
- 第58回 日本臨床化学学会年次学術集会(名古屋・8/24)
北川 亘 特別講演「甲状腺疾患専門病院における甲状腺癌の診断と治療～最新のトピックスをふまえて～」
- 第19回 日本内分泌学会中国支部学術集会(鳥取・8/25)
正木千恵 特別講演「分子標的薬時代の甲状腺癌診療」
- 第19回 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会(東京・9/7～8)
大江秀美 「ピオチンによる免疫測定法への干渉についての検討」
渡邊奈津子 特別講演「内分泌内科医が知っておくべきパセドウ病の合併症 一年齢・リスク因子に配慮した管理とは～」
- 第77回 臨床内分泌代謝研究会(東京・9/26)
吉原 愛 コメンテーター「拡張型心筋症に伴う重症心不全に合併したアミオダロン誘発性甲状腺中毒症Ⅱ型の1例」
- 第60回 全日本病院学会 in 東京(東京・10/6～7)
浅見玲那 「同成分抗甲状腺薬再投与で発現した無顆粒球症例の休業期間について～患者指導の観点から～」
湯浅宏美 「結婚を控えた女性が乳頭癌と診断された時の心理～フィンクの危機モデルを用いて振り返る～」
斗納美衣子 「気管皮膚瘻造設患者の患者教育について～コーンの危機・障害受容モデルを踏まえて考える～」
菊地玲子 「甲状腺未分化癌患者におけるサイコオンコロジーの実際」



- 第41回 日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(大阪・10/7～8)
北川 亘 「NIFTP(非浸潤性被包型乳頭癌濾胞型)と濾胞型乳頭癌、浸潤性被包型乳頭癌濾胞型型の超音波所見について」
藪田智範 「甲状腺髄様癌における超音波所見と臨床的特徴の比較」
北川 亘 特別講演「穿刺液サイログロブリン測定による甲状腺乳頭癌の頸部リンパ節転移診断について」
國井 葉 特別講演「腺腫様甲状腺腫の細胞診の適応と超音波画像所見」
- 第2回 京都甲状腺癌研究会(京都・10/27)
杉野公則 特別講演「甲状腺分化がんに対するレンビマ治療の問題点と知見～伊藤病院での経験例から」
- 日本超音波医学会 第30回関東甲信越地方会学術集会(東京・10/27～28)
國井 葉 特別講演「超音波による甲状腺結節の診断を向上させるために」
國井 葉 座長「甲状腺・頸部」
- The 7th Taiwan-Japan Conjoint Slide Conference of IAP(台北・10/27～28)
加藤良平 座長「Pancreatic tumor」

講演活動

- 外科手術体験セミナー 2018 in 伊万里(8/11)
加藤良平 「センス・オブ・ワンダー(虫から病理学へ)」
- 第6回 細胞検査士養成公開講座(府中・9/8)
加藤良平 「甲状腺疾患の病理」
- ロシュ NAセミナー 2018 「妊娠とホルモン検査(甲状腺、AMH)」(東京・9/10)
吉原 愛 「妊娠と甲状腺」
吉村 弘 座長「妊娠と甲状腺」「AMHの実臨床での使い方と将来の期待」
- エーザイ株式会社「MR実践研修」(東京・9/14)
鈴木章史 「実臨床における甲状腺癌Lenvatinibマネジメント」
- 第124回 がん診療連携拠点病院研修会(石川・10/5)
北川 亘 「甲状腺専門病院における甲状腺腫瘍の診断と治療」
- 関節の痛みと女性ホルモン研究会(東京・10/13)
伊藤公一 特別講演「専門病院における甲状腺疾患診療」
- 板橋区女性健康支援センター 女性健康セミナー(東京・10/29)
伊藤公一 「女性に多い甲状腺疾患」

表参道交差点

昨年、表参道交差点にあった青山アンデルセンが閉店しました。

ご利用になっていた方も少なくないと思いますが、閉店の理由は東京メトロの表参道駅バリアフリー化計画によるもので、高齢化や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、エレベーター増設などが計画されているとのこと。現在、駅の中でもホームドアの設置が進められていますね。また、青山通りの病院側でも都営団地の工事が行われており、そして交番近くの秋葉神社も移転します。この周辺の風景も大きく変わりそうです。

ちなみに、当院最寄りのA2出口は階段のみですが、表参道反対側のA1出口近くにはエレベーターとエスカレーターが設置されています。(レトゥル・熊野)



編集後記

毎日に寒さが加わり、こたつの恋しい季節になってまいりました。今回もVoice冬号をお手に取って頂きありがとうございます。お楽しみいただけただいしょうか。

健康に関する記事や、検査についてなど皆様の知りたいこと、気になっていることがございましたらご意見をいただければ幸いです。

12月、1月には忘年会やクリスマス、年越しにお正月など行事が目白押しで皆様お忙しくお過ごしかとおもいます。くれぐれも御身体に気をつけて、素敵な年をお送りください。また来年も伊藤病院をよろしく願いいたします。(北風)

甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



新版「甲状腺の病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,404円(税込)
発行：講談社



「名医の図解 よくわかる甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,400円(税込)
発行：主婦と生活社



「ウルトラ図解 甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,620円(税込)
発行：法研



「よくわかる 最新医学 甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,512円(税込)
発行：主婦の友社



「患者のための最新医学 バセドウ病・橋本病・その他の甲状腺の病気」

監修：伊藤公一
定価：1,300円(税込)
発行：高橋書店



「図解 甲状腺の病気がよくわかる 最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,510円(税込)
発行：日東書院



安全！便利！おいしい！ 甲状腺専門・伊藤病院がおくる ヨウ素制限食レシピ

監修：伊藤公一
編集：北川巨
定価：1,728円(税込)
発行：全日本病院出版会

発行 2018年12月1日発行 第64号 伊藤病院広報誌委員会

ITO HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <http://ito-hospital.jp>